
第 429 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2024 年 8 月 22 日(木) 17 時 30 分～19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階研究所セミナー室

演 者: 川端 重忠 氏

大阪大学大学院歯学研究科微生物学講座 教授

レンサ球菌感染症の歴史、疫学、およびその病原因子

化膿レンサ球菌は健康な小児や成人の咽頭や皮膚に存在する常在菌である。咽頭炎や膿痂疹などの非侵襲性感染症を惹起する一方で、レンサ球菌性毒素性ショック症候群や壊死性筋膜炎などの致死的な感染症を引き起こし、“人食いバクテリア”と呼ばれている。後者は劇症型レンサ球菌感染症といわれ、2023 年には過去最多の 900 名を超える人が犠牲となった。さらに、2024 年上半期ですでに前年度の数値を上回った。確たる原因は不明であるが、犠牲者の多くは高齢者である。

高齢者は感冒やインフルエンザなどのウイルス感染症に罹患した後、鼻咽腔をニッチとするレンサ球菌による細菌性肺炎を合併し、重症化の転帰をたどることが多い。ウイルス感染により傷害を受けた気管支や肺組織では、細菌感染に対する感受性が亢進することが推察されている。私たちはこれまでに、インフルエンザウイルス感染がもたらす気道におけるストレス応答分子群の表在化に着目し、ウイルス感染肺組織へのレンサ球菌の定着ならびに病態形成との関連を検証してきた。

本セミナーでは、レンサ球菌感染症に関するトピックスを自身のデータを交えて紹介したい。

Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

(学歴・職歴)

平成元(1989)年3月	大阪大学歯学部卒業
平成5(1993)年3月	大阪大学大学院歯学研究科臨床系博士課程修了
平成5(1993)年10月	米国アラバマ州立大学バーミングハム校研究採用 (平成7年12月まで)
平成7(1995)年3月	大阪大学歯学部 助手採用(口腔細菌学)
平成9(1997)年12月	大阪大学歯学部 講師昇進(口腔細菌学)
平成10(1998)年9月	大阪大学歯学部助教授昇進(口腔細菌学)
平成18(2006)年5月	大阪大学大学院歯学研究科教授昇進(口腔分子感染制御学)
平成24(2012)年4月	大阪大学大学院歯学研究科副研究科長、歯学部副学部長 (平成25年3月まで)
平成28(2016)年4月	大阪大学評議員(平成30年3月まで)
令和5(2023)年4月	大阪大学大学院歯学研究科微生物学講座に改組

現在に至る

(所属学会等)

日本細菌学会, 歯科基礎医学会, 日本感染症学会, 日本糖質学会
American Society for Microbiology, American Society for Biochemistry and Molecular Biology
日本細菌学会評議員(2000～2026)
日本細菌学会理事(2012～2017)
日本細菌学会監事(2018～2020)
日本細菌学会評議員会副議長(2021～2023)
日本細菌学会理事(2024～2026)
歯科基礎医学会評議員(2000～2016)
歯科基礎医学会代議員(2016～2024)
歯科基礎医学会理事(2012～2024)
歯科基礎医学会常任理事(2012～2020)

健康増進口腔科学講座 吉田 明弘 教授